

SEIKO TV WATCH

腕から始まる21世紀のコミュニケーション。



SEIKO TV WATCH

(ワトTV-DXA002 TVレシーバーTR01, スピーカーユニットH02, ビデオカメラTC01, キャンダース, アルカリ3乾電池2本付)

DXA001 ¥108,000 (標準小売価格)

(ワトTV-DXA005, レシーバーTR01, ヘッドホンTH01, ビデオカメラTC01, キャンダース, アルカリ3乾電池2本付)

主な製品仕様(付属品含む)

表示部・テレビ表示部	画面サイズ 1.2インチ(横18×縦23.75%)
表示方式	FE型GH液晶
画素数	31,920画素(482×10×横132)
時計表示部	表示方式 FE型TN液晶
受信チャンネル	VHF 1-12ch UHF 13-63ch FM 76-91MHz
外形寸法	レシーバー 縦125.0×横74.5×厚さ19.0mm ワトTV 縦48.7×横39.8×厚さ11.1%
重量	レシーバー 約185g(乾電池含む) ワトTV 約280g(バンド含む) ユニット 約15g(バンド含む)(DXA002) ヘッドホン 約55g(バンド含む)(DXA001)
連動方式	連続可変マニュアル(VHF-LOW(HIGH)側A.J.)
アンテナ	ユニット(ヘッドホン)コードを兼用
電源	レシーバー 乾電池DC3V 単3×2本 電圧線AC100V(専用アダプタ使用)
電池寿命	レシーバー部 連続TV視聴時間 約5時間 (7本乾電池使用) 連続音声聴取時間 約10時間 (7本乾電池使用)
消費電力	テレビ視聴時 約520mW 音声のみ 約350mW
出力端子	ビデオジャック ミニコンポジット(DXA002) ヘッドホンジャック(DXA001)
時計機能	精度月差±10秒以内(標準) 電池寿命 約2年 電池寿命切れ予告機能付 ストップウォッチ付(1:100分計 100分計) アラーム付 振動機能付 サウンドデモストレーション機能付 12時間制/24時間制切り替え装置付 日・曜日付オートカレンダー ワンタッチの秒修正装置付
野売品	専用ACアダプタ(TD01) ¥1,800
DXA002はステレオ・ユニット	(オプションアダプタ付) ¥1,800 (付ビデオコード g3.5mm)
DXA001はステレオ・ヘッドホン	(オプションアダプタ付) ¥1,800 (付ビデオコード g3.5mm)

「SEIKO TV WATCH(DXA001)および(DXA002)は、1年間のメーカー保証つきです。お買い上げの際は必ず保証書をご確認ください。
リストTVにあらわれないセッティングされている場合は、機能、性能をチェックするためのモニター用電源です。
●このカタログに掲載の仕様及び外観は変更のため予告なく変更することがあります。

株式会社 服部セイコー
HATTORI SEIKO CO., LTD.

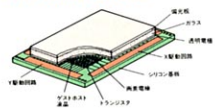
「ニューメディア時代」、それはまさに世界の動向をリアルタイムでキャッチできる第2次情報化社会の到来を告げる言葉です。具体的には衛星放送、文字多重放送、キャプションシステムなどの実用化がすでに着々と進みつつあります。

来たるべきニューメディア時代の一端にならうべく、SEIKO「テレビ・ウォッチ」が登場しました。永年にわたるSEIKOのメカトロニクス技術が、またひとつ大きく前進。時を知るという機能をはるかに超えた、多角的な情報に対応するテクノロジーの第一歩をします。

●世界最小1.2インチのテレビを可能にした液晶画像ディスプレイ。

画面は1.2インチ(タテ16.85%、ヨコ25.25%)で、もちろん世界最小・最軽量、かつ驚異の薄型。この画期的「テレビ・ウォッチ」開発の要素は、第一に従来のデジタル・ウォッチなどに使われている液晶を、さらに改良、発展させた新素材の「ゲストホスト型液晶」です。そして第二に画面サイズの超大型LSIの開発。このLSIの中に31,920もの画素と、これを1秒間に60回も動かす素子や制御回路を集積しました。次に同様のLSIとガラス板の間に、液晶を封入すると、液晶画像ディスプレイ(LVD: Liquid Crystal Video Display)の完成です。白黒の濃淡の幅を広げ、微妙な肌合いをも表現できるようにしたLVD。その解像度ははるかに高度、動きの早いスポーツ番組や、ニュースの文字もはっきりと見えます。

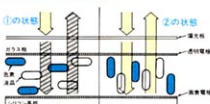
●LVD: 液晶画像ディスプレイ模式図



●明るい屋外ほど、鮮明な映像が見える受光型のテレビ画面。

SEIKO「テレビ・ウォッチ」の液晶画像ディスプレイは受光型、明るい屋外では鮮明な映像を見ることが出来ます。従来のブラウン管では得られなかった太陽光のもとでも映像はくっきり。かつ、小型化に必須の条件である消費電力の低減化も可能にしました。

●LVD: パネルの表示原理



①液晶層に電圧が加わらない状態

液晶分子も色素分子もパネル面に平行に並んでいるため、入射光は青色の色素分子に吸収され、パネルから出て来る反射光は青いままです。

②液晶層に電圧が加わった状態

液晶分子と色素分子は電界の方向を向くため、入射光は色素分子によって吸収されずにシリコン上の反射面で反射されるため白くなります。つまり電圧が加わらない画面は青色に、電圧が加わった画面は白色に見え、画像が作り出されるわけです。

●テレビはVHF、UHFのオールチャンネルを受信。

腕の上のテレビ、もう大事な番組を見のがすことはありません。テレビはVHFはもちろん、UHFも受信できます。音質良好、鮮明画像、場所を選ばず、テレビを求めて移動する人々もはびきります。将来は視聴者の生活範囲の拡大に対応して編成されたテレビ番組や、移動テレビ専用の放送局の出現も夢ではありません。

●レシーバ部はポケット・サイズ、電池を入れても185グラムの軽さ。

ブラックを基調にしたレシーバは、タテ12.5センチ、ヨコ7.4センチ、厚さはわずか1.9センチ。ボリュームや明るさ調整、選局はもちろん、ステレオ/モノ切り換え装置、FMステレオエンジェターなど多くの機能を装備した「テレビ・ウォッチ」のコントロール・センターです。これほど多くの動き

SEIKO「テレビ・ウォッチ」は、テレビ画面を組み込んだリストTV、ステレオ・イヤホン部、レシーバで構成されています。SEIKOが「世界に先がけ」開発に成功した小型薄型クォーツウォッチをベースにした高度なCMOS IC技術、液晶表示技術、精密加工、実装技術、さらに最新のテレビ回路技術が有機的に結成され、開発されたのがこの「テレビ・ウォッチ」です。

コンパクトながらも鮮明画像。いつでも欲しい情報を即座にキャッチすることができます。いま、テレビはあなたの腕で「スイッチON!」。

を備えても、あくまで携帯性を重視し、重さは185グラム。胸のポケットにすっぽり入るコンパクト・サイズです。付属品のキャリングケースでベルトなどに装備すれば、さらに軽快です。

●テレビ視聴、連続5時間。消費電力はもう半分の世界最少。

携帯するとなると、気になるのが消費電力。ところが、テレビの電源はレシーバに収納された単3乾電池2本のみ。アルカリ乾電池なら、ゆうゆう連続5時間の視聴が可能です。この消費電力は、テレビでは世界最少。また、テレビ音声やFM音声だけの聴取なら連続10時間、専用アダプタ(別売)を使えば、家庭用電源を利用することもできます。

●デジタル・ウォッチの機能はフル装備。時計機能には、時刻、カレンダー表示、アラーム、ストップウォッチを搭載。なお、時計の電源はテレビとは別で、リストTVに納められた銀電池です。

●FM、テレビのオールチャンネル音声が高音質で楽しめるステレオ・ミニホン。

「テレビ・ウォッチ」のステレオ・ミニホンはアンテナの役割も兼ねています。アンテナで受信した電波はレシーバへ、映像はリストTVへ送られ、音声は再びミニホン部へと逆戻り。テレビの音質は良好、しかも従来のヘッドホン・ステレオ同様に、ダイナミックな臨場感あふれるFMステレオ放送が満喫できます。

●リストTVから、ワンタッチで着脱可能なビデオコネクタ。

時計計としては初めて着脱可能なビデオコネクタを開発。ビデオコネクタはレシーバからテレビ信号を送るエネルギーの道です。この大切な機能であるリストTVとレシーバをつなぐ信頼性の高いケーブル。ビデオコネクタなら簡単に操作で接続するだけでOKです。

☆ヘッドホンタイプ【SEIKO TV-WATCH】
DXA001 Y108.00 (標準小売価格)



ステレオ・ミニホンジャック

FMステレオ/モノ切り換え・
テレビ画面ON/OFFスイッチ

パワースイッチ

チューニングつまみ

ボリュームつまみ

TV/FM
切り換えスイッチVHF/UHF
切り換えスイッチACアダプタ
入力ジャック

ビデオジャック

FMステレオ
インジケータ

ブライトネつまみ

ビデオコネクタ

時計表示部

テレビ表示部

☆ミニホンタイプ

[SEIKO TV-WATCH/DXA002 ¥98,000 (標準小売価格)
ほぼ実寸大]

気になる実況中継も腕からキャッチ。

恒例の甲子園高校野球の決勝戦、大相撲の千秋楽、海外遠征中のスポーツ・チームの大事な一戦。見のがせないと思ったとき、あなたはテレビのある場所を目ざして走りだしますか。「テレビ・ウォッチ」なら心配無用。街を歩きながらでも、自由に最新情報をキャッチすることができます。もう黒山の人のために悩まされることもありません。また、周囲の雑音をさけて読書に取りたいときは、FMステレオ放送にスイッチを入れ、ミニホンにB.G.M.を流すことも自在。さらに、ミニホンジャックから外部スピーカに接続して音を楽しむこともできます。コンパクトな「テレビ・ウォッチ」は、どんな環境にあっても、あなたのパーソナル・タイムを大切に考えています。



写真の仕様がDXA001

いつ、どこでも情報通。

海や山のレジャーで気になるのは、なんといっても天候の変化です。台風が近づきつつあるなどとはおそろのこと。釣やハイキングなどのアウトドアライフにとって、最新の天気予報を映し出してくれる「テレビ・ウォッチ」は心強い味方です。さらに、政治や経済の動向を左右する事件、多くの人命にかかわる事故の発生に際して、さまざまな情報が乱れ飛ぶ中、もつとも伝達が速いのは電波です。こんなとき、「テレビ・ウォッチ」は、いわば電波号外の役割をはたすというわけです。



どこでも、手軽にビデオ再生。

ますます 小型化、軽量化していくビデオデッキ。家庭以外、の場所でも、ビデオを楽しむ機会が増えてきそうです。こんな時のモニターとして「テレビ・ウォッチ」がお役にたちます。ビデオデッキの高周波出力端子に市販のフィーダー線をさしこみ、もうひとつの端をミニホン（ヘッドホン）コードに巻きつけるだけ。手軽に、美しい画像がえられます。

